

第 1 編

総 説



館山城と緋寒桜

——内 容——

- 1 沿 革
- 2 地 勢
- 3 人口の推移
- 4 館山市名誉市民、
館山ふるさと大使
- 5 館山市のあゆみ

1 沿革

館山は、天正19年(1591年)里見義康が居城を築いてから世に知られるようになった。その後、江戸時代の初期、里見氏が改易されたあとは、幕府の公領、諸藩の私領、旗本の采地などであった。明治4年、廃藩置県によって木更津県の所轄となったが、明治6年木更津県が廃止されて千葉県在所轄に属するようになった。

明治22年市町村制が施行され、町村の合併が行われた際、北条町、館山町、豊津村、西岬村、神戸村、富崎村、豊房村、館野村、九重村、凧原村、船形村となった。凧原村は、商店が軒を並べて房州一の繁華街を形成したために明治26年1月町制を施行し、那古町と改称、港町として栄えた船形村もまた明治30年町制を施行した。館山町と豊津村とは組合組織によって自治制度を執っていたが、大正3年4月両町村が合併して館山町となる。昭和8年4月館山町と北条町が合併し、館山北条町となる。

さらに昭和14年11月3日館山北条、那古、船形の3町を廃止し、その区域をもって市制を施行し、初めて館山市が誕生した。また、昭和29年5月3日憲法記念日を期し、市町村合併促進法によって、西岬、神戸、富崎、豊房、館野、九重の6か村を合併して現在の館山市となった。

○ 市発展の推移

本市は、地理的、歴史的背景から明治11年北条に安房郡役所が設置された。以来、安房地方の政治、経済、文化等あらゆる面での中心地として繁栄し、昭和を迎えた。昭和5年館山海軍航空隊の設置に続いて戦時中は、洲崎航空隊、砲術学校が設けられるなど、軍事的に非常に大事な地となり、軍都の色彩が濃い中で進展した。そして終戦となり、軍施設の解放により水産業基地に、あるいは農耕用地として転換が行われ、産業中心に移行した。

昭和29年には周辺6か村を合併、現在の市域となり、商工業や交通の整備発達に伴い県南での中心都市として発展、加えて波静かな館山湾(別名鏡ヶ浦)を擁し、31kmに及ぶ海岸線は白砂青松の自然美を形成し、暖冬涼夏の恵まれた気候とあいまち、首都圏有数の観光地として脚光を浴びるに至った。

昭和33年に南房総国立公園の指定、昭和36年に国民休暇村の指定、昭和48年には自然休養村の指定を受けるに至った。このような中で国鉄電化による京葉、京浜との時間的距離が接近されたことにより、広く首都圏内の休養文化都市としての使命を自覚しつつ、来訪する観光客に多大の期待をよせ、南房総国立公園の中心都市として環境の整備と観光開発に努力を注ぎ、躍進的な歩みを続けるとともに、教育、福祉等あらゆる面での整備充実に取り組み、明るく豊かな文化福祉都市をめざして発展に努めている。

平成9年に東京湾アクアラインが開通、平成19年には館山自動車道が全線開通し、都心とのアクセスは飛躍的に向上してきている。海と共に発展してきた歴史を振り返り、南房総の玄関口としての国際的な雰囲気醸し出す「海辺のまちづくり」や、平成22年に完成した館山港多目的観光棧橋を中心とした「館山湾の活用」など、21世紀の新たな「交流と交易のまち館山」を目指している。

2 地勢

本市は、千葉県の南部、房総半島の最南端に位置し、西に波静かな館山湾を抱き、南は太平洋の荒波にあらわれ、白砂岩礁が交錯する長い海岸線を形成して、対岸に三浦半島を望んで東京湾口を擁している。北方は平たん地が展開し、その中央に平久里川の流れが館山湾に注いでおり、流域は地味肥沃で耕作に適している。東及び南方には複雑な小山塊が起伏して、樹園地や台地畑及び山林地帯となっている。

気候は、一般には暖冬涼夏の代表的地域として知られ、一部無霜地帯がある。黒潮の影響を強く受けて、厳しい寒さはない。平成23年の年間降雨量は1,571.0mmである。夏は、海を渡った涼風が走り、異常高温はほとんどなく(平成23年8月の平均気温は26.9度)、冬季は南西又は西の季節風が強く、この地方の欠陥とされている。また、初霜12月上旬、終霜3月下旬、雪はごくまれである。

位 置 東経139度52分 北緯 34度59分
 面 積 110.22km²
 海 岸 線 31.5km
 広 ぼ う 東西 17km 南北 16km

○ 地目別面積 平成24.1.1現在 (単位km²)

地 目	面 積	比 率
田	14.85	13.47%
畑	8.85	8.03%
宅 地	10.44	9.47%
山 林	23.58	21.40%
牧 場	0.04	0.04%
原 野	2.67	2.42%
雑種地	3.33	3.02%
道路・その他	46.46	42.15%
計	110.22	100.00%

3 人口の推移

(1) 国勢調査人口

各年10.1 国勢調査

年 次	世 帯 数	人 口	世帯当人口	人口密度
昭和25年	12,514	59,424	4.75	541.6
30年	12,528	59,416	4.74	541.6
35年	12,986	57,643	4.44	525.4
40年	13,741	55,866	4.07	509.0
45年	14,685	55,236	3.76	503.2
50年	15,855	56,139	3.54	511.3
55年	16,753	56,257	3.36	512.3
60年	17,353	56,035	3.23	510.2
平成2年	18,059	54,575	3.02	495.3
7年	18,698	52,880	2.83	479.9
12年	19,218	51,412	2.68	466.5
17年	19,865	50,527	2.54	458.5
22年	20,232	49,290	2.44	447.2

(2) 産業別就業人口 (15歳以上)

平成 22. 10. 1 国勢調査

産業分類	人口	構成比
第一次産業	1,777 人	7.7%
農業	1,588 人	6.9%
林業	23 人	0.1%
漁業	166 人	0.7%
第二次産業	3,733 人	16.3%
鉱業	13 人	0.1%
建設業	1,792 人	7.8%
製造業	1,928 人	8.4%
第三次産業	17,193 人	74.9%
電気・ガス・水道業	123 人	0.5%
情報通信・運輸業・郵便業	1,201 人	5.2%
卸売・小売業	4,116 人	17.9%
金融・保険業	504 人	2.2%
不動産業・物品賃貸業	293 人	1.3%
サービス業	9,233 人	40.2%
公務	1,723 人	7.5%
分類不能	265 人	1.1%
総数	22,968 人	100.0%

4 館山市名誉市民、館山ふるさと大使

(1) 館山市名誉市民

市民又は市に縁故の深い方で、広く社会の発展、文化の興隆又は公共の福祉の増進に多大の貢献をし、その功績が卓絶で市民の師表と仰がれる方に対して、館山市名誉市民の称号を贈り、その功績を称えています。

館山市名誉市民一覧(敬称略)

平成 25 年 4 月 1 日現在

No.	該当年月日	氏名	主な経歴
1	昭和 50 年 3 月 22 日	中村 庸一郎	衆議院議員
2	昭和 50 年 3 月 22 日	本間 譲	館山市長
3	昭和 54 年 11 月 2 日	高橋 祐二	千葉県議会議員
4	昭和 54 年 11 月 2 日	穂坂 興明	千葉県医師会副会長
5	昭和 54 年 11 月 2 日	水田 三喜男	衆議院議員、大蔵大臣
6	昭和 54 年 11 月 2 日	小高 熹郎	衆議院議員
7	昭和 54 年 11 月 2 日	川名 正義	千葉県医師会長
8	昭和 54 年 11 月 2 日	田村 利男	館山市長

No.	該当年月日	氏名	主な経歴
9	昭和58年11月3日	山口 康	市議会議員
10	平成2年12月25日	半澤 良一	館山市長
11	平成8年11月3日	吉田 勇治郎	市議会議員
12	平成11年11月2日	飯田 義男	市議会議員
13	平成11年11月2日	岩崎 彌壽彦	画家
14	平成11年11月2日	安田 豊作	館山市教育長
15	平成11年11月2日	和田 金次	剣道家
16	平成21年11月3日	黒川 浩	ストック育種家
17	平成21年11月3日	本多 馨	保育園長、文化団体会長

(2) 館山ふるさと大使

館山市在住、出身及び館山市とゆかりがあり国内・海外において活躍している人で、館山市及び南房総のイメージアップや地域の活性化につながると期待される人に対して、本人の同意に基づき館山市長が委嘱し、館山市の歴史、自然、文化、スポーツなど様々な分野の地域情報を効果的に発信することを目的とします。

館山ふるさと大使一覧(敬称略)

平成25年4月1日現在

No.	委嘱年月日	氏名	主な経歴
1	平成14年3月25日	さかなクン	東京海洋大学客員准教授
2	平成15年1月6日	深津 純子	ジャズフルーティスト
3	平成15年11月14日	石井 崇	画家
4	平成19年6月23日	飯沼 誠司	プロライフセーバー
5	平成20年6月22日	田村 悦智子	元全日本代表バレーボール選手
6	平成21年1月24日	館山 昌平	東京ヤクルトスワローズ投手
7	平成22年2月3日	川上 文代	料理研究家
8	平成22年3月18日	稲川 素子	芸能事務所社長
9	平成22年6月25日	文原 聡	アニメーター・クリエイター
11	平成24年6月10日	盛口 満	沖縄大学准教授
12	平成24年7月22日	中尾 美樹	元競泳日本代表選手

5 館山市のあゆみ

明治2年	旧藩主本多正納、藩知事に任ぜられ民政を掌る(明2.6)
3	藩庁を長尾から北条に移す(明3.10)
4	廃藩置県、安房国の四藩をそれぞれ県と改称(明4.7.14) 安房、上総の二国が木更津県の管轄となる(明4.11.13)
5	館山郵便局開設
6	木更津、印旛の二県が廃止され、千葉県となる(明6.6.15)
7	大小区制施行され、安房、平の二郡第一大区となり、取扱所北条に置かれる(明7.1)
9	警察出張所北条に設置される
10	新井浦、下町、上町、仲町、楠見浦、上須賀浦の三町三浦合併して館山町となる(明10.3.29)
11	郡区町村編成発布され、安房、平、朝夷、長狭の四郡連合郡役所北条に置かれる(明11.11)
	東京、館山間汽船運航する
18	北条区裁判所開設され北条治安裁判所と称す(明18.2.20)
22	市町村制施行され新たに町村の編成がなされる(明22.3.31)
	人口 船形村(5,112) 凧原村(4,044) 北条町(4,736) 館山町(4,013) 西岬村(5,096) 神戸村(3,593) 富崎村(3,291) 豊房村(4,471) 館野村(2,850) 九重村(2,671) 豊津村(3,209)
	館山郵便局において電報業務開始(明22.6)
	千葉県収税部北条出張所北条に設置(明29 大蔵省移管東京税務管理局北条税務署となる)
26	凧原村町制を施行して那古町となる(明26.1.27)
30	新たに郡制施行され四郡合併して安房郡となる(明30.4.1)
	船形村町制を施行して船形町となる(明30.12.1)
明治34年	県立安房中学校創立(現安房高等学校)
38	安房女子裁縫伝習所創立(現安房西高等学校)
40	安房郡立女子技芸学校創設(現安房南高等学校)
	電話通信事務開始(40.4.3)
44	電燈供給開始(1,300 燈)
大正3年	館山町と豊津村合併して館山町となる(大3.4.1)
7	那古船形駅鉄道開通(大7.8.10)
8	安房北条駅(現館山駅) 鉄道開通(大8.5.24)
	洲崎灯台点灯開始(大8.12.15)
10	九重駅鉄道開通(大10.6.1)
13	郡立安房農業水産学校創立(現安房水産高等学校)
14	北条町立実科女学校創立(現館山高等学校)
昭和5年	館山海軍航空隊設置(昭5.6)
8	館山町北条町合併館山北条町と称す(昭8.4.18)
10	都市ガス供給開始(昭10.2.27)
	館山市営火葬場開設(昭10.4.19)
	館山市営と畜場開設(昭10.5.1)
13	上水道給水開始(昭13.8.4)
14	館山北条町、那古町及び船形町の三町合併して市制を施行(昭14.11.3)
18	市立図書館設立
19	館山警防団常備設置(昭19.4.11)
23	皇太子殿下御来館寒中水泳御視察(昭23.1.5)
25	館山市営プール開設、日本水連公認(昭25.6.25)
	館山市消防署設置(昭25.10.31)
26	館山市広報第1号発刊(昭26.6.15)
28	館山商工会議所開所(昭28.5.1)

	天皇、皇后両陛下御来館房州産業御視察(昭28.5.6)
	海上警備隊館山航空隊開設(昭28.9.16)
29	西岬、神戸、富崎、豊房、館野、九重の六か村館山市へ合併(昭29.5.3)
32	皇太子殿下御来館水産資源保護大会御臨席(昭32.6.20)
33	ベリンハム市(米)と姉妹都市締結(昭33.7.11)
	南房総国定公園指定(昭33.8.1)
35	市役所新庁舎落成(昭35.4.8)
	国民宿舎鳩山荘開設(昭35.7.1)
36	館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合設立(昭36.9.26)
	見物部落国民休暇村に指定される(昭36.12.1)
37	館山ユースホステル開設(昭37.7.17)
	館山伝染病隔離病舎完成(昭37.9.8)
38	公明選挙都市宣言(昭38.3.25)
	館山市藤原衛生処理場完成(昭38.4.15)
	国立館山海員学校開校(昭38.8.8)
39	皇太子御一家来館春の房州を御見学(昭39.3.22)
	国民休暇村にしぎき荘開設(昭39.7.11)
	館山市、富浦町及び三芳村上水道組合設立(昭39.11.16)
40	市内7農業協同組合、合併して館山市農業協同組合となる(昭40.1.1)
	館山高等学校県立移管(昭40.4.1)
	交通安全都市宣言(昭40.9.29)
41	館山市開発公社設立認可(昭41.3.30)
	南房州有料道路(フラワーライン) 開通(昭41.4.1)
	館山市正木衛生処理場完成(昭41.10.30)
	館山局電話自動化(ダイヤル式)される(昭41.12.11)
昭和42年	バードセンター開設(昭42.5.13)
	館山漁協、船形漁協合併により館山船形漁協組合となる(昭42.6.1)
	北条海岸やし並木造成(42~43)
	姉妹都市ベリンハム市との第1回学生交換(昭42.8.22)
43	館山市、富浦町及び三芳村上水道組合改め三芳水道企業団となる(昭43.4.1)
	館山市民センター開設(昭43.5.1)
	館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合設立認可(昭43.9.24)
44	西岬局電話自動化(ダイヤル式)される(昭44.4.25)
	房総西線電化開通(昭44.7.11)
	三芳水道施設完成(館山市、富浦町、三芳村)(昭44.7.15)
	館山市民憲章を制定(昭44.11.3)
45	館山市、富浦町及び三芳村学校給食センター給食開始(昭45.1.16)
	館山市豊房育成牧場開設(昭45.8.1)
	安房郡市広域市町村圏事務組合設立認可(昭45.9.10)
	館山市老人福祉センター開設(昭45.10.14)
	南房パラダイス開設(昭45.10.20)
	館山市温水プール開設(昭45.12.6)
46	香、下原塩見、浜田、見物、坂田、洲崎、西川名、伊戸、根本の9漁協が合併、西岬漁業協同組合となる(昭46.1.1)
	館山市教育放送センター完成(昭46.3.25)
	高騰する物価安定策として、物価問題協議会が発足(昭46.6.1)
	北条小学校新築移転(昭46.9.1)
	ベリンハム市より大阪万国博覧会に展示されたトーテムポールが寄贈(昭46.9.2)
47	館山市図書館新築移転(昭47.2.1)

- 館山市消防署、安房郡市広域市町村圏事務組合に移管される(昭47.4.1)
 豊房小学校新築(昭47.4.31)
 安房合同庁舎新築移転(昭47.5.12)
 館山市中央公園開園(昭47.6.15)
 館山警察署新築落成(昭47.6.29)
 特急さざなみ開通(昭47.7.15)
 館山市老人憲章を制定(昭47.9.15)
- 48 布良局電話自動化(ダイヤル式)(昭48.3.7)
 山梨県石和町と姉妹都市締結(昭48.5.10)
 第28回国民体育大会(若潮国体)千葉県で開催
 夏季大会(昭48.9.9~12)ヨット会場となる
 天皇皇后両陛下御来館 南房パラダイス御視察(昭48.10.12)
 秋季大会(昭48.10.15~17)柔道会場(館山高等学校)、剣道会場(市民センター)となる
- 49 相浜漁協、富崎漁協が合併、相浜漁業協同組合となる(昭49.3.20)
 館山小学校防音校舎新築(昭49.3.30)
 福祉都市宣言(昭49.6.19)
 館山市環境保全公社設立(昭49.9.1)
 館山市基本構想を制定(昭49.10.1)
- 50 名誉市民に本間譲氏、中村庸一郎氏決定(昭50.3.22)
 房州水道株式会社市営移管(昭50.4.1)
 中央保育園開設(昭50.4.15)
 特別養護老人ホーム開設(昭50.12.1)
- 51 作名ダム竣工(昭51.8.24)
- 昭和52年 第二中学校校舎新築(昭52.2.28)
 第一中学校校舎新築(昭52.3.3)
 作名ダム給水開始(昭52.7)
- 53 東小学校校舎新築(昭53.2.28)
 館山小学校講堂新築、第一中学校体育館新築(昭53.3.10)
 富崎小学校校舎、同幼稚園舎新築(昭53.3.15)
 市民運動場開設(昭53.6.12)
- 54 館野小学校校舎、同幼稚園舎新築(昭54.2.28)
 九重小学校体育館新築(昭54.2)
 館山市那古市営住宅新築(昭54.4)
 館山市営市民体育館竣工(昭54.5)
 館山市福祉作業所オープン(昭54.10.1)
 名誉市民に高橋祐二氏、穂坂与明氏、水田三喜男氏、小高熹郎氏、川名正義氏、田村利男氏決定(昭54.11.2)
 館山市市制施行40周年(昭54.11.3)
- 55 神戸小学校校舎増築、神戸幼稚園舎改築、那古小学校校舎改築、西岬中学校校舎改築(昭55.2.28)
 九重保育園舎完成(昭55.3.10)
 那古市営住宅16戸完成(昭55.3.15)
 青色申告都市宣言(昭55.3.28)
 神余中、豊房中、第四中学校閉校(昭55.3.31)
 第三中学校開校(昭55.4.7)
 国民宿舎鳩山荘(改築)オープン(昭55.6.3)
 東市民運動場開設(昭55.11.4)
- 56 第1回若潮マラソン大会開催(昭56.2.7)
 観光いちご園オープン(昭56.2.7)

	那古小学校体育館新築(昭56.2.28)
	九重小学校校舎、同幼稚園園舎新築(昭56.2.28)
	房南中学校柔剣道場新築(昭56.2.28)
57	館山市衛生センター竣工(昭57.2.27)
	東小学校、西小学校閉校(昭57.3.31)
	西岬小学校開校、西岬中学校閉校(昭57.4.1)
	館山市立博物館(本館)着工(昭57.6.30)
	館山市清掃センター着工(昭57.10.2)
	館山市コミュニティセンター着工(昭57.10.21)
	館山市立博物館(分館)開館(昭57.10.31)
	第1回城まつり開催(昭57.10.31)
58	館野小学校校舎増築(昭58.1.31)
	船形小学校校舎防音改築、船形幼稚園園舎防音改築、西岬小学校校舎増築、西岬幼稚園園舎増築(昭58.2.15)
	館山市コミュニティセンター開館(昭58.11.1)
	名誉市民に山口康氏決定(昭58.11.3)
	館山市立博物館(本館)開館(昭58.11.23)
59	西岬市民体育館開館(昭59.4.6)
	豊津地区学習等供用施設開設(昭59.4.10)
	館山市セントラルテニスコート完成(昭59.7.7)
	第1回薪能開催(昭59.9.1)
	館山市清掃センター竣工、出野尾老人福祉センター竣工(昭59.10.25)
	県立館山運動公園開園(昭59.11.1)
	彫刻の径完成(昭59.11.22)
	竹原線農免道路完成(昭59.11.30)
昭和60年	那古小学校校舎増築、西岬小学校体育館竣工(昭60.2.28)
	館野小学校グラウンド拡張(昭60.3.15)
	NMBセミコンダクター操業開始(昭60.5.10)
	粗大ごみ処理施設竣工(昭60.5.16)
	館山市総合計画を策定(昭60.12.21)
61	那古幼稚園園舎完成、富崎小学校体育館完成(昭61.2.28)
	防災行政無線開局(昭61.3.26)
	国道127号館山バイパス部分開通(昭61.4.7)
	南館山サンフラワーテニスコート完成(昭61.6.15)
	第1回市民健康まつり(昭61.10.10)
62	暴力追放都市宣言(昭62.6.23)
63	館山駅西口地区土地区画整理事業都市計画決定(昭63.3.14)
	第二中学校講堂防音改築(昭63.3.14)
	船形保育園新築移転(昭63.4.1)
	館野小学校プール完成(昭63.6.30)
	真倉市営住宅完成(昭63.8.31)
平成元年	館山駅西口地区土地区画整理事業の事業計画決定公告(平1.3.14)
	三軒町生活排水処理施設完成(平1.5)
	市制施行50周年記念国際民俗音楽フェスティバル開催(平1.8.19~20)
	長寿健康都市宣言(平1.9.29)
	市制施行50周年記念式典開催(平1.11.1)
2	城山公園に日本庭園、茶室完成(平2.4.10)
	都市計画道路八幡高井線開通(平2.5.2)
	名誉市民に半澤良一氏決定(平2.12.25)

- 3 世界民族舞踊フェスティバル開催(平 3. 11. 17)
- 4 一般国道 127 号館山バイパス(館山地区)開通(平 4. 1. 22)
館山市公共下水道事業の認可(平 4. 3. 10)
北条海岸トイレ完成(平 4. 3. 31)
市道 1031 号線開通(平 4. 4. 1)
平和都市宣言(平 4. 9. 29)
- 5 一般国道 127 号館山バイパス全線開通(平 5. 3. 25)
県道館山白浜線の国道 410 号昇格(平 5. 4. 1)
館山国際交流協会設立(平 5. 10. 20)
- 6 第二中学校柔剣道場完成(平 6. 2. 23)
館野保育園新園舎完成(平 6. 2. 26)
デイサービスセンター「ふれあいの郷」オープン(平 6. 3. 1)
生涯学習施設「菜の花ホール」完成(平 6. 11. 1)
- 7 館山市長全米姉妹都市協会及び[※] イツオブ ライト財団よりゴールデンハート賞を受賞(平 7. 7. 5)
第 1 回全国大学フラメンコフェスティバル開催(平 7. 8. 19)
房南中学校新校舎使用開始(平 7. 9. 1)
館山市土地開発公社設立(平 7. 10. 10)
- 8 インターネットに館山市のホームページ開設(平 8. 1. 12)
館山市・内房・南房・小湊の 4 農業協同組合が合併し、安房農業協同組合となる(平 8. 4. 1)
安房地域県民センター(安房支庁内)、旅券の申請・交付窓口開設(平 8. 6. 7)
一般国道 127 号、館山バイパス入口以南区間県へ移管(県道 302 号線)
那古地区生活排水処理施設完成(平 8. 6. 25)
南房総広域水道企業団、通水開始(平 8. 10. 1)
市営水道、館野・九重地区給水開始(平 8. 10. 1)
名誉市民に吉田勇治郎氏決定(平 8. 11. 3)
千葉ロッテマリーンズ、館山秋季キャンプ実施(平 8. 11. 10～25)
- 平成 9 年 豊房小学校校舎改修・増築(平 9. 1. 20)
那古海岸トイレ完成(平 9. 3. 19)
館山保健所改め安房保健所となる(平 9. 4. 1)
千葉県南総文化ホール開館(平 9. 6. 1)
第 1 回館山国際オープンウォータースイムレース開催(平 9. 7. 20)
第 50 回館山市文化祭開催(平 9. 10. 25～12. 13)
東京湾アクアライン開通(平 9. 12. 18)
- 10 館山市水道と三芳水道企業団が統合し、三芳水道企業団を継承(平 10. 4. 1)
館山ユースホステル事業廃止(平 10. 4. 1)
鏡ヶ浦クリーンセンター通水開始(平 10. 5. 21)
千葉地方法務局館山支局移転(平 10. 5. 25)
安房医師会新病院起工式(平 10. 10. 30)
大神宮橋完成(平 10. 11. 3)
- 11 生涯学習のまちづくり宣言(平 11. 3. 19)
館山駅橋上駅舎、自由通路完成(平 11. 3. 30)
生涯学習出前講座がスタート(平 11. 6. 1)
コーラル会議(平 11. 6. 21)・総合計画審議会(平 11. 6. 24)が始動
館山市内幼稚園給食開始(平 11. 10. 1)
館山駅が「関東の駅百選」に選ばれる(平 11. 10. 14)
市制施行 60 周年記念式典を執行(平 11. 11. 3)
名誉市民に飯田義男氏、岩崎彌壽彦氏、安田豊作氏、和田金次氏決定(平 11. 11. 2)
- 12 館山市消防団が日本消防協会最高栄誉賞「まとい」受賞(平 12. 2. 9)
オーストラリア ポートステイブンスと友好都市締結(平 12. 2. 11)

- 鴨川市、千倉町、丸山町と職員交流事業開始（平 12. 4. 1）
 市立博物館の入館者が 1 0 0 万人突破（平 12. 4. 9）
 館山港が特定地域振興重要港湾に選定（平 12. 5. 23）
 安房医師会新病院完成（平 12. 6. 1）
 JR バス関東(株)が東京駅行き高速バス「房総なのはな号」開業（平 12. 6. 3）
 旧市営国民宿舎鳩山荘を(株)平砂浦ビーチホテルへ貸し付け（平 12. 6. 30）
 館山駅レゾナント（館山駅自由通路）等が建設省（現国土交通省）の手づくり郷土賞受賞（平 12. 7. 10）
 館山野鳥の森に「ふれあい野鳥館」オープン（平 12. 7. 16）
 オーストリアラーヴ町青年団音楽隊交流演奏会を南総文化ホールで開催（平 12. 8. 18）
 新館山市総合計画を策定（平 12. 12. 25）
- 13 「ジェフ市原」初の館山キャンプ（平 13. 1. 29～31）
 千葉ロッテマリーンズ館山後援会設立（平 13. 3. 10）
 IT 講習会（2,000 人規模）開始（平 13. 5. 7）
 館山市観光協会で観光プロデューサーとして浅井信氏を採用（平 13. 6. 1）
 空店舗対策としてチャレンジショップ「ちょこちょこ壺番屋」開店（平 13. 6. 21）
 諏訪神社自然林（那古地区）を館山市指定文化財に指定（平 13. 6. 28）
 里見づくしの 1 週間。南総里見ウィーク開催（平 13. 10. 13～21）
 館山第一中学校校舎大規模改修第 1 期工事終了（平 13. 10）
- 14 半島地域の活性化を考える移動半島ツーリズム大学開催（平 14. 2. 19～21）
 神余小学校新校舎完成（平 14. 3）
 館山市土地開発公社解散（平 14. 3）
 日韓歴史交流シンポジウム江戸時代「ハンゲル四面石塔」のなぞ開催（平 14. 3. 23～24）
 館山ふるさと大使委嘱（第 1 号：さかなクン）（平 14. 3. 25）
 安房地域 11 市町村で「合併重点支援地域」の指定（平 14. 3. 25）
 完全学校週五日制の実施など新教育課程スタート（平 14. 4. 1）
 ごみの指定袋制度導入（平 14. 7. 1）
 国道 410 号北条バイパス、都市計画道路青柳大賀線開通（平 14. 7. 18）
 「安房地域市町村合併任意協議会」設立（平 14. 9. 4）
 館山第一中学校校舎大規模改修第 2 期工事終了（平 14. 11）
- 平成15年 館山ふるさと大使委嘱（第 2 号：フルート奏者 深津純子氏）（平 15. 1. 6）
 「安房地域市町村合併任意協議会」解散（平 15. 1. 23）
 客船「飛鳥」（28,856 t）初寄港（平 15. 3. 5）
 房州うちわ県内初めて国指定伝統的工芸品に指定される（平 15. 3. 17）
 館山・安房 9 市町村合併法定協議会設置（平 15. 4. 1）
 館山駅西口地区土地区画整理事業換地処分（平 15. 5. 16）
 市議会本会議で対面式演壇採用平 15. 6 月定例議会（平 15. 6）
 平成 1 7 年度全国高等学校体育大会剣道競技館山市実行委員会設立（平 15. 6. 16）
 県指定文化財「那古寺観音堂」の「平成の大修理」解体修理始まる（平 15. 6. 18）
 客船「こっぼん丸」（21,903 t）初寄港（平 15. 8. 8）
 オーストリアラーヴ町有志 2 2 名が訪問（平 15. 8. 28）
 館山ふるさと大使委嘱（第 3 号：画家 石井崇氏）（平 15. 11. 14）
- 16 「安房やわたんまち」千葉県無形民俗文化財に指定（平 16. 3. 30）
 赤山地下壕跡の一般公開始まる（平 16. 4. 1）
 館山・安房 9 市町村合併法定協議会を廃止（平 16. 4. 30）
 客船「飛鳥」2 度目の寄港（平 16. 5. 27）
 一般国道 1 2 7 号富津・館山道路全線開通（平 16. 5. 29）
 静岡県下田市との海上ルート検討のため、ジェットフォイルによるモーター運航実施（平 16. 7. 3～4）
 客船「こっぼん丸」2 度目の寄港（平 16. 8. 8）

- 観光立市たてやま推進協議会設立（平 16. 8. 31）
 内房線に新型特急導入（平 16. 10. 16）
 北条海岸・城山公園が「関東の富士見百景」に選ばれる（平 16. 10. 18）
 館山第二中学校校舎大規模改修第 1 期工事終了（平 16. 11）
 17 市議会議事録ホームページにて検索閲覧可能（平 17. 1）
 「館山海軍航空隊赤山地下壕跡」市指定文化財（史跡）に指定（平 17. 1. 27）
 天津小湊町・鴨川市新設合併により新「鴨川市」が誕生（平 17. 2. 11）
 「茂名の里芋祭」国の重要無形民俗文化財に指定（平 17. 2. 21）
 超高速ジェット船「セブンアイランド」東京～館山～伊豆大島間試験運航実施（平 17. 3. 14～31）
 客船「ぱしふいっく ひいなす」（26, 518 t）初寄港（平 17. 3. 16）
 館山自動車道「竹岡 I C－富津中央 I C」開通（平成 17. 3. 19）
 富崎幼稚園閉園（平 17. 3. 26）
 「南総里見まつり」が第 9 回ふるさとイベント大賞部門賞（産業・観光部門）受賞（平 17. 4. 11）
 「観光立市たてやま行動計画」を策定（平 17. 7. 1）
 「第 52 回全国高等学校剣道大会」開催 安房高男子剣道部 36 年ぶり 2 度目の日本一（平 17. 8. 3～5）
 客船「こっぼん丸」3 度目の寄港（平 17. 8. 8）
 愛知県で開催の愛・地球博「千葉の日」に辻田市長、手づくり甲冑隊が出演（平 17. 8. 23）
 館山市議会議員定数 25 人から 20 人に削減する定数条例可決（平 17. 9. 30）
 「館山市行財政改革プラン」を策定（平 17. 10）
 館山第二中学校校舎大規模改修第 2 期工事終了（平 17. 11）
 18 那古船形地区学習等供用施設「若潮ホール」開館（平 18. 1. 11）
 高速バス「館山～千葉」線運行開始（平 18. 2. 10）
 客船「こっぼん丸」4 度目の寄港（平 18. 3. 7）
 日本最大客船「飛鳥Ⅱ」船内見学会のため寄港したが強風、高波のため中止（平 18. 3. 4）
 超高速ジェット船「セブンアイランド」館山～大島～下田間運航（平 18. 2. 10～3. 14）、
 東京～館山～大島間運航（平 18. 3. 15～31）
 「第 2 期館山市基本計画」「館山市情報化推進計画」を策定（平 18. 3）
 安房 7 町村合併による南房総市誕生（平 18. 3. 20）
 館山港多目的棧橋建設事業、国土交通省により本体建設の補助金（平 18. 4. 1）
 発達した低気圧通過による記録的豪雨により、平久里川流域 675 世帯、1, 761 人に避難勧告（平 18. 4. 13）
 濃霧の洲崎沖で船同士衝突 フィリピン船籍の貨物船が衝突沈没 洲崎、西川名海岸に油漂着（平 18. 4. 19）
 市議会本会議インターネット生中継配信（平 18. 6）
 緊急情報「館山市安全・安心メール」を携帯電話で配信（平 18. 8. 1）
 市内初の道の駅「道の駅南房パラダイス」が登録（平 18. 8. 10）
 奈良時代前期の古写経 那古寺で発見される（平 18. 9. 5）
 平成19年 JR 九重駅新駅舎使用開始（平 19. 2. 1）
 ちばデスティネーションキャンペーン SL38 年ぶりに内房線を疾走（平 19. 2）
 沖ノ島公園に初のバイオトイレを建設（平 19. 3）
 総合型地域スポーツクラブ「館山ファミリースポーツクラブ わかしお」設立（平 19. 3. 22）
 市の組織が変更 全部署にグループ制を導入（平 19. 4. 1）
 市議会議員定数 20 名（平 19. 5. 1）
 客船「ふじ丸」（23, 235 t）初寄港（平 19. 6. 17）
 館山ふるさと大使委嘱（第 4 号：ライフセーバー 飯沼誠司氏）（平 19. 6. 23）
 館山自動車道全線開通（平 19. 7. 4）
 笛吹市と災害協定締結（平 19. 7）
 高速バス「館山～羽田空港・横浜駅線」運行開始（平 19. 9. 1）

- ツール・ド・ちば2007 (平 19. 9. 17)
- 那古小学校校舎・体育館改修工事終了 (平 19. 11)
- 20 客船「ふじ丸」(23, 235 t) 2回目の寄港 (平 20. 1. 6)
- 「全国大学フットボールフェスティバル in 館山」が第12回ふるさとイベント大賞奨励賞受賞 (平 20. 3. 3)
- 千葉県立安房高等学校野球部 21世紀枠で悲願の甲子園初出場 (平 20. 3. 22)
- 館山市教育センター廃止 (平 20. 3. 31)
- 館山市シルバー人材センターが社団法人化 (平 20. 4. 1)
- 社会福祉法人太陽会が旧安房医師会病院を引継、安房地域医療センター経営を開始(平 20. 4. 1)
- 館山市民号超高速ジェット船で市長と共に神津島へ (平 20. 5. 8~5. 9)
- 「たてやま観光マイスター」制度を導入 (平 20. 6. 13)
- 館山ふるさと大使委嘱 (第5号: 元全日本バレーボール選手 田村悦智子氏) (平 20. 6. 22)
- 初代「たてやま・ポートシスターズ」を委嘱 (平 20. 6. 26)
- 「ふるさと納税制度」開始 (平 20. 6. 27)
- 病児・病後児保育事業を開始 (平 20. 7. 1)
- 館山市初の女性農業委員誕生 (平 20. 7)
- ベリンハム市姉妹都市締結 50周年記念式典参加のため市民団渡米 (平 20. 7. 20~27)
- 客船「こっぼん丸」7度目の寄港 (平 20. 8. 8)
- 交流を重ねて50年、ベリンハム市姉妹都市締結 50周年記念式典開催 (平 20. 10. 17)
- 威容再び、千葉県指定有形文化財「那古寺観音堂」平成の大修理竣工 (平 20. 10. 26)
- 21 ごみの分別に「プラスチック製容器包装」「発泡スチロール」追加 (平 21. 1. 1)
- 「館山ふるさと市民」制度を導入 (平成 21. 1. 16)
- 館山ふるさと大使委嘱 (第6号: 東京ヤクルトスワローズ 投手 館山昌平氏) (平 21. 1. 24)
- 地上デジタルテレビのための館山中継局が開局 (平 21. 3. 3)
- 国道 127 号館山バイパス 4車線化供用開始 (平 21. 3. 28)
- 主要地方道富津館山線「国分バイパス」開通 (平 21. 3. 31)
- 「館山市元気な広場」オープン (平 21. 4. 1)
- 神戸幼稚園と房南保育園が統合し、幼保一元化施設「房南こども園」開園 (平 21. 4. 1)
- 千葉県立安房博物館が館山市へ移譲 (平 21. 4. 1)
- 城山公園に「里見茶屋」オープン (平 21. 4. 4)
- 「NHKのど自慢」公開生放送を39年ぶりに開催 (平 21. 7. 26)
- 豪ポートステーション市と姉妹都市協定調印 (平 21. 11. 2)
- 市制施行 70周年記念式典開催 (平 21. 11. 3)
- 名誉市民に黒川浩氏、本多馨氏決定 (平 21. 11. 3)
- 平成22年 館山ふるさと大使委嘱 (第7号: 料理研究家 川上文代氏) (平 22. 2. 3)
- 館山ふるさと大使委嘱 (第8号: 芸能事務所社長 稲川素子氏) (平 22. 3. 18)
- 南房総地域を南北に縦貫する基幹農道「安房グリーンライン」全面開通 (平 22. 4. 1)
- 館山港多目的観光棧橋竣工式典、新生「こっぼん丸」寄港 (平 22. 4. 25)
- 千葉県海上保安部館山分室開設 (平 22. 4. 25)
- 館山ふるさと大使委嘱 (第9号: クリエーター 文原聡氏) (平 22. 6. 25)
- 館山市議会議員定数 20 人から 18 人に削減する定数条例可決 (平 22. 9. 22)
- 第65回国民体育大会ゆめ半島千葉国体開催「軟式野球・剣道」競技会場。安房高等学校男子剣道部 三冠 (選抜大会, 高校総体, 国体) の偉業達成 (平 22. 9~10)
- 天皇皇后両陛下下地方事情御視察のため御来館 (平 22. 9. 27)
- 館山市マスコットキャラクター「ダッペエ」誕生 (平 22. 12. 6)
- 23 78年ぶりに新バス路線「観光棧橋線」開設 (H23. 2. 5)
- 館山市及び南房総市学校給食組合解散により、館山市学校給食センター設置 (平 23. 4. 1)
- 燃せるごみの収集回数週 3 回から週 2 回へ、他のごみの回収日変更 (平 23. 4. 1)
- 「活かそう届けよう館山の元気と心」宣言 (平 23. 4. 20)
- 市議会議員定数 18 名 (平 23. 5. 1)

- シンボルロード整備事業完了し「鏡ヶ浦通り」と命名 (平 23. 7. 18)
「館山ふるさと特使」制度を導入 (平 23. 8. 1)
赤ちゃんの駅設置 (平 23. 9. 1)
館山港多目的観光棧橋の愛称「館山夕日棧橋」に決定 (平 23. 12)
- 24 里見氏「稲村城跡」国史跡指定 (平 24. 1. 24)
若潮マラソンのエントリー1万人突破 (平 24. 1. 29)
ご当地グルメ「館山炙り海鮮丼」提供開始 (平 24. 2. 1)
“渚の駅” たてやまオープン (平 24. 3. 25)
神戸小学校に統合のため、富崎小学校休校 (平 24. 3)
「ASTCトライアスロンアジア選手権 (2012/館山)」開催 (平 24. 4. 7~8)
館山ふるさと大使委嘱 (第11号: 大学准教授 盛口満氏) (平 24. 6. 10)
2代目「たてやま・ポートシスターズ」を委嘱 (平 24. 7. 12)
- 25 館山ふるさと大使委嘱 (第12号: 元水泳日本代表 中尾美樹氏) (平 24. 7. 22)
ご当地グルメ「館山旬な八色丼」提供開始 (平 25. 1. 30)